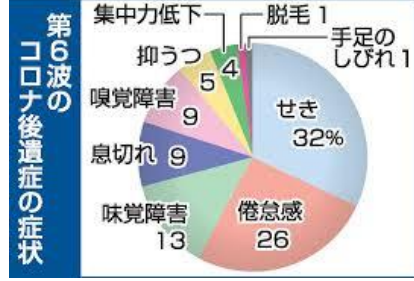
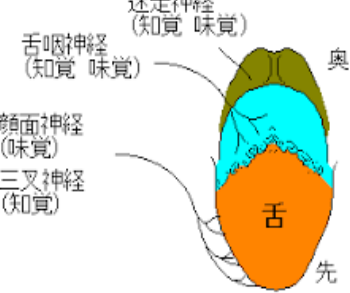


味覚障害の鍼灸治療

味覚障害とは、味に対する感度が低下し、味を感じなくなる症状。



味覚障害の原因

原因	味覚障害機序
亜鉛不足	味蕾細胞の新陳代謝が起こりにくくなり、味蕾の働きが悪くなる 過剰なダイエットやファーストフード、食品添加物の取り過ぎ
薬剤の副作用・口腔疾患	糖尿病の合併症 薬剤の副作用 アレルギー性鼻炎 コロナ後遺症
唾液分泌低下・口腔内乾燥	唾液は、味の成分を溶解して味蕾へ運ぶ役割を果たしている 加齢や唾液分泌が低下する疾患(シェーグレン症候群)
味蕾の減少・委縮	老化とともにこの味蕾は減少・委縮 高齢者の味蕾の数は新生児の3分の1にまで減少
心因性 味覚の感覚神経	介護 顔面神経、舌咽神経、迷走神経

味覚障害の鍼灸治療

症状	はり	きゅう	耳つぼ
味覚神経障害	下関(胃経・三叉神経・舌咽神経・迷走神経)・翳風(三焦経・顔面神経)		神門
味覚臭覚障害	迎香(大腸経)・風池(胆経)		脾
味覚神経障害	合谷(大腸経)・足三里(胃経)・関衝(三焦経・井穴刺絡)	合谷・足三里	

